

市内中小企業景況調査結果（平成29年7～9月）

全般的に好転するも、来期は再び小幅ながら悪化を予想

下 関 商 工 会 議 所

本所では地域の景況・企業の動向を把握するため、四半期ごとに市内の中堅・中小企業50社を対象とした景況調査を実施しています。このたびは第1四半期（平成29年7～9月期）の調査結果を報告します。

- 調査時点

平成29年8月15日

- 調査対象時期

平成29年7～9月期状況、平成29年10～12月期見通し

- 調査回答企業数

40社：建設業7社、製造業6社、卸売業8社、小売業9社、サービス業10社（回収率80%）

- D I（DIFFUSION INDEX 景況判断指数）

好転の回答割合から悪化の回答割合を差し引いた数値

【概 況】

市内中小企業の景況をみると、前期（29年4～6月期）では、全般的に悪化傾向が見られたが、今期（29年7～9月期）では全産業合計の業況D I（前年同期比）では、業種別にみるとバラツキがみられるものの全般的には好転となっている。

先行きについては、全体としてはわずかながら悪化するものと予想している。業種別にみると、製造業や卸売業では好転、建設業や小売業では悪化を予想するなど引き続きバラツキが見られる展開となっている。

- 今期（29年7～9月期）の状況（前年同期比）

全産業合計の業況D I（前年同期比）は、前期（29年4～6月期）と比較して16.0ポイント好転し、D Iは△25.0となっている。

業種別の業況をみると、サービス業では52.5ポイントと大幅に好転しているものの、D Iでは△10.0に、小売業でも33.3ポイント好転しているもののD Iでは△11.1にとどまっている。卸売業ではD I △25.0と変化なく推移している。建設業では14.3ポイント悪化し、D Iでは前回の±0.0からマイナスに転じている。製造業では11.9ポイント悪化し、D Iでも△83.3と大幅な悪化超のまま推移している。

〔売 上〕

全産業で見ると、前期（29年4～6月期）と比較して変化なく、D Iでは $\Delta 46.1$ と悪化のまま推移している。

業種別にみると、小売業では77.8ポイントと大幅な好転となったものの、D Iでは $\Delta 11.1$ とマイナス域にとどまっている。サービス業も15.0ポイント好転し、D Iでは $\Delta 10.0$ となっている。建設業と卸売業は前期と変化なくD Iでは夫々 $\Delta 28.6$ 、 $\Delta 35.0$ で横ばいとなっている。製造業では57.1ポイントと大幅な悪化となり、D Iでも $\Delta 100.0$ とすべての企業が悪化したと回答している。

〔採 算〕

全産業で見ると前期（29年4～6月期）と比較して、11.6ポイント好転しているが、D Iでは $\Delta 28.9$ とマイナスで推移している。

業種別にみると、小売業では55.6ポイントと大幅に好転しているものの、D Iでは $\Delta 11.1$ にとどまっている。サービス業も27.5ポイントの好転となり、D Iでは $\Delta 10.0$ となっている。建設業と卸売業は前期と変化なく、D Iでは夫々 $\Delta 42.9$ 、 $\Delta 14.3$ と悪化のまま推移している。製造業では66.7ポイントと大幅な悪化となり、売上と同様にD Iでも $\Delta 100.0$ まで低下している。

〔資金繰り〕

全産業で見ると前期（29年4～6月期）と比較して、3.2ポイントと小幅な好転となったものの、D Iでは $\Delta 18.4$ となっている。

業種別にみると、卸売業では25.0ポイント好転し、D Iでも ± 0.0 まで戻している。小売業では22.2ポイント好転しているものの、D Iでは $\Delta 22.2$ となっている。サービス業も3.3ポイントと小幅の好転となり、D Iでは $\Delta 11.1$ となっている。建設業は前期と変化なく $\Delta 14.3$ で推移。製造業は60.0ポイントと大幅な悪化となり、D Iでも $\Delta 60.0$ まで悪化している。

●来期(29年10～12月期)の見通し（前年同期比）

全産業合計の業況D Iは今期（29年7～9月期）と比較して6.5ポイントと小幅ながら悪化し、D Iでは $\Delta 31.5$ とマイナス域のまま推移するものとみている。

業種別にみると、製造業では33.3ポイント好転するものの、D Iでは $\Delta 50.0$ にとどまる見込みとなっている。卸売業では12.5ポイント好転し、D Iでは $\Delta 12.5$ となっている。サービス業では変化なくD I $\Delta 10.0$ で推移する見込み。建設業では14.3ポイントの悪化となり、D Iでも $\Delta 28.6$ となる見込み。小売業でも22.2ポイントの悪化となり、D Iでも $\Delta 33.3$ となるものと見込んでいる。

〔売 上〕

全産業で見ると、今期（29年7～9月期）と比較して28.6ポイント好転し、D Iでは $\Delta 17.5$ まで戻す見通しとなっている。

業種別にみると、製造業では50.0ポイントと大幅に好転するものの、D Iでは $\Delta 50.0$ にとどまるものと見込んでいる。卸売業と建設業では夫々37.5ポイント、28.6ポイント好転し、D Iではともに ± 0.0 まで戻す見込み。小売業では11.1ポイント悪化しD Iでは $\Delta 22.2$ 、サービス業でも10.0ポイント悪化し、D Iも $\Delta 20.0$ と悪化する見込みとなっている。

〔採 算〕

全産業で見ると、今期（29年7～9月）と比較して12.8ポイント好転するものの、D Iでは△15.8にとどまる見通しとなっている。

業種別にみると、製造業では40.0ポイントと大幅に好転しているものの、D Iでは△60.0にとどまっている。卸売業と小売業では夫々14.3ポイント、11.1ポイント好転し、D Iではともに±0.0まで戻す見込み。建設業でも14.3ポイント好転するものの、D Iでは△28.6にとどまる見込み。サービス業は変化なくD I △10.0で推移する見込みとなっている。

〔資金繰り〕

全産業で見ると、今期（29年7～9月期）と比較して変化なく、D I △18.4で推移する見通し。

業種別では、サービス業では11.1ポイント好転し、D Iも±0.0まで回復するものと予想。建設業と小売業では前期と変化なく、D Iでも夫々△14.3、△22.2で推移する見込みとなっている。製造業では変化なくD Iでは△60.0と悪化のまま横這いを予想。卸売業では12.5ポイント悪化し、D Iでは△12.5となる見通しとなっている。

●設備投資

設備投資の実施状況を見ると、今期（29年7～9月期）は22.5%の実績となり、前年同期（28年7～9月期：20.0%）や前期（29年4～6月期：25.0%）と同様に比較的活発な状況が続いている。投資状況を業種別で見ると、建設業の42.9%をはじめ卸売業25.0%、サービス業20.0%と比較的活発に行われているものの、来期については全体で10.0%と沈静化する見通しとなっている。

●経営上の問題点

建設業では、前回2位の「材料価格の上昇」とともに、前回圏外だった「熟練技術者の確保難」が1位となり、前回1位の「下請業者の確保難」と、前回3位の「官公需要の停滞」2位となっている。製造業では「需要の停滞」が前回と変わらず1位となり、前回3位の「生産設備の不足・老朽化」が2位、「原材料価格の上昇」が2位から3位に後退している。卸売業では、1位「需要の停滞」に変化はないものの、2位には「仕入単価の上昇」が入っている。小売業でも「購買力の他地域への流出」が引き続き1位となり、2位も変化なく「消費者ニーズの変化への対応」が入っている。サービス業では、前回1位の「需要の停滞」とともに、前回圏外の「従業員の確保難」が1位となり、2位には前回1位の「熟練従業員の確保難」とともに「利用料金の低下・上昇難」が入っている。

業 種 別 D I 値 表 平 成 29 年 7 ～ 9 月 期

	回答企業数	業 況		売 上		採 算		資金繰り		採算(今期経常利益)
		①	②	①	②	①	②	①	②	
全 産 業	40	△25.0	△31.5	△46.1	△17.5	△28.9	△15.8	△18.4	△18.4	2.6
建 設 業	7	△14.3	△28.6	△28.6	0.0	△42.9	△28.6	△14.3	△14.3	△14.3
製 造 業	6	△83.3	△50.0	△100.0	△50.0	△100.0	△60.0	△60.0	△60.0	△40.0
卸 売 業	8	△25.0	△12.5	△37.5	0.0	△14.3	0.0	0.0	△12.5	25.0
小 売 業	9	△11.1	△33.3	△11.1	△22.2	△11.1	0.0	△22.2	△22.2	0.0
サービス業	10	△10.0	△10.0	△10.0	△20.0	△10.0	△10.0	△11.1	0.0	20.0

① 前年同期(平成 28 年 7 月～9 月)と比較した今期(平成 29 年 7 月～9 月)の状況

② 前年同期(平成 28 年 10 月～12 月)と比較した来期(平成 29 年 10 月～12 月)の見通し

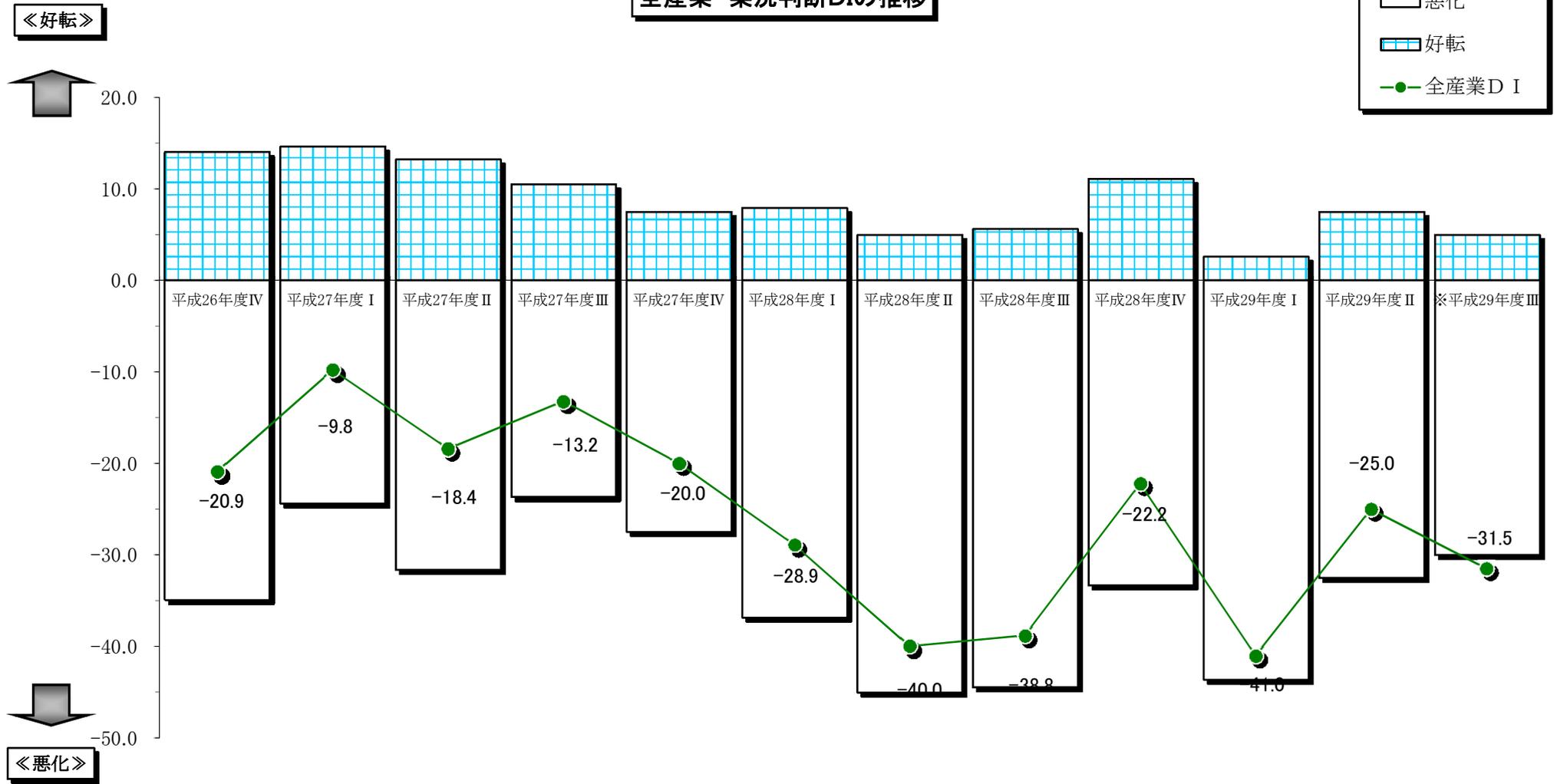
直 面 し て い る 経 営 上 の 問 題 点

産 業	1 位	2 位	3 位
建 設 業	材料価格の上昇／熟練技術者の確保難	下請業者の確保難／官公需要の停滞	人件費の増加／請負単価の低下・上昇難／下請単価の上昇／民間需要の停滞
製 造 業	需要の停滞	生産設備の不足・老朽化	原材料価格の上昇
卸 売 業	需要の停滞	仕入単価の上昇	メーカーの進出による競争の激化
小 売 業	購買力の他地域への流出	消費者ニーズの変化への対応	需要の停滞
サービス業	従業員の確保難／需要の停滞	利用料金の低下・上昇難／熟練従業員の確保難	人件費の増加／材料等仕入単価の上昇

設備投資を今期実施した 22.5 %

設備投資を来期計画している 10.0 %

全産業 業況判断DIの推移



【業況判断DI】

〈好転〉、〈不変〉、〈悪化〉の選択肢のうち、〈好転〉と答えた企業の割合から〈悪化〉と答えた企業の割合を差し引いた値。

I…4～6月期、II…7～9月期、III…10～12月期、IV…1～3月期

※前年度同期（平成28年10～12月）と比較した来期（平成29年10～12月）の見通し